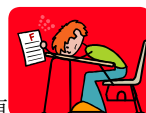



## 「次世代プラットフォームへの挑戦」

拝復 早いものであわただしい年末年始を過ごしてから、既に二週間。なんだか時の流れが一段と速くな

何とかぎりぎり滑り込んだ思い出があります(笑) →



ったように感じるのは年のせいでしょうか(T\_T)。そういえば受験生の頃「一月は行き、二月は逃げ、三月は去る」なんていうことを言っていたのを久しぶりに思い出しました。このメールマガジンを読んでくださっている読者の中には、お子さんが受験適齢期と言う方が多いように感じます。風邪なぞ引かず、日頃の実力を遺憾なく発揮されることをお祈りします。もう30年以上も前の話ですが、私も受験生として物凄いストレスと不安と闘っていました。今求められているのはあの緊張感、不安に立ち向かう

気持ちかな、と思います。結果はどうあれ、全力を出し切った感覚は「人生の宝」であると実感しています。

さて、閑話休題。今日はちょっと今までにないテーマをお届けしたいと考えています。なぜか？それは自分が今、書こうとしていることを自分の仕事にしようとしているからです。とかく、マーケティング・リサーチの仕事は他者の作ったもの、もしくは作ろうとしているものに関わるものが多い。ま、調査部ですから(笑)。ブログを続けているうちに降ってわいたような「構想」。これを今後、発展、事業化しようと考えています。まだ、どこにも発表していません(主要な会社にはサウンディングしていますが)。本邦初公開の事業テーマ。さあ、皆さんの反応がとても楽しみです。なかったら悲しい(T\_T)。

一言で言うと「次世代プラットフォーム」の構築です。副題には「デジタル・ネイティブ第二世代に向けた」が点くのですが、あまりに長いので^^；。


普段、ネットを便利に使っています。例えばこの Newsletter を執筆するにもネットは不可欠です。言



←今や精度でも百科事典を超えたといわれています。間違ってもすぐに直せる

葉の定義を「Wikipedia」に聞き、同じようなことを考えている人がいないか「グーグルのプログ

検索」で調べ、関係のありそうな本を  に発注し(本当に翌日に届きます)、

イラストを MS クリップアートから探し、使う写真は「iStockPhoto」 で購入します。この Newsletter はまさに現在のネットの主要なサービスから出来上がっているようなものなのです。恐らくネ

ットがなければこの周期でメルマガを発行することも不可能であったでしょう。図書館に出かけ、本屋に取り寄せを頼み、文献を当たり、等およそ見当もつかない手間です。さらにデリバリーを考えると、**読者2000人に郵便でお届けしたとすると 2000人×@60円=12万円 12万円×24回/年=288万円**。これはとても販促予算として計上するには大きすぎます。これが**ネットだとコストはほぼゼロ**に近い（アクセスやプロバイダー料金を除く）。また弊社での働き方を考えると、メール、添付ファイル、スカイプがなければ、**従来型の都心オフィスを構えなければならなかった**。今は快適です。

しかしながら、今のネットにはいくつかの不便さを感じていることも事実です。前段で確認できたのですが、私は現在のネットサービスの枠内でしか動いていないのです。一つ、一つ、取り上げます。

### 1) ちっとも国際的じゃない^^;

金融に関する限り最高の情報源です→



一生懸命読もうと頑張っていますが、「**Financial Times**」のヘッドラインを追いかけるのがせいぜい。私が英語をもっと勉強すればいいのですが、それにしても何とかならないのか。**既存の「翻訳ソフト」は全く使い物になりません**。FACEBOOKは世界最大のSNSですが、言葉の問題やタイピングの遅さで気後れします。もっと簡単にならないのかなあ。

### 2) 同じことを何回書けなければいけないのか

これは若干説明を要しますが、ネット上の色々なサービスを利用する際には、必ずといって良いほど「登録」を求められます。**名前(振り仮名)、アドレス、住所、電話 (FAX) 番号、年齢、性別、パ**



←しかもその情報のほとんどは使わないんだよなあ(T\_T)

スワード.....途中で登録をあきらめることもあります。久しぶりに見に行くとIDとパスワードを求められ、そのたびにいくつかのアドレスとパスワードの組み合わせに四苦八苦します。お願いだから何とかしてくれ〜(T\_T) (なぜ、住所が必要なのか分からないのです)

### 3) 情報弱者への配慮がない

二回に渡ってお送りした「**Twitter**」、難しすぎます。日頃、ITに関わっていない人間には使いこなしが難しい。それ以上に高齢者や子供に難しすぎます。**子供はやがて使い始めるのですが、**



←近頃の高齢者は元気。でもネットからは疎外されています

**高齢者**にはほとんど配慮されていないと感じます。メアドの設定? そんなの絶対に不可能(T\_T)。私も新しいPCを導入するたびに「設定」に悩まされます。今は、「ジャパネットたかた」などが設置・設定サービスをしてくれるようですが、PCを扱うにはある程度の知識が必要です。メールを書くくらいであれば「ケータイ」で何とかできます。**PCネットの豊かな資源は、弱者には優しくありません。**

#### 4) 現在のネットワークはECOじゃない

今のネットを支えているのは巨大な「サーバ」です。グーグルが何台のサーバを保有しているか、分かりません。発表しないからです。しかし、独自のサーバをグーグル仕様で生産しています。



←Google というのはもともと「無量大数」を表す、「googol」が語源だそう。知っていました？

何が言いたいかというと、今のネットは地球資源のことをあまり考えていません。超巨大なサーバ群が使う電力 (24h 365 d)、物凄い熱を持つ PC。省エネは重要課題ですが、それ以上のスピードでネットの拡大が続いています。

と、まあ、日頃からぶつくと考えていたのですが、ある出会いがありました。私はほぼ毎日、[ブログ](#)を書いています。ある日、高校時代の友人の話を書き込みました。その友人が自宅に遊びに来たこと、一緒に聴いたレコードのこと。すると、なんとそのレコードのミュージシャンから突然、私に電話がかかってきたのです。普通、そんなことありえないですよね^^;。その人が [Magical Power](#)



←17歳で武満徹に見出された才能です。

[Mako](#) さん でした。今を遡ること約 30 年前。日本のプログレッシブシーンにおいて「天才」との異名を取った人。「Wikipedia」にもでていますよ (笑)。Mako さんとは六本木ヒルズのアカデミー・ライブラリーで会うことになりました。そのときに聞かされたのが今回の「次世代ネットワーク」の構想でした。私はユーザーではあっても「ネットの構築者」ではありません。戸惑いながら話を聞いていたのですが、同行の友人ともども、次第にその魅力に気づくようになってきたのです。特徴をあげます。

##### 1) (ほぼ) 同時、翻訳システム(現在韓国語で実験中)←なぜ英語でないのかちょっと不思議です (笑)

このシステムを使えば世界中の誰とも言葉の壁を越えてコミュニケーションすることが可能となります。もちろんテキストベースの翻訳もほぼ同時です。英語だけではなく中国語、スワヒリ語等全ての言語をカバーします。

##### 2) 言葉の問題が解決されると、ほぼ同時に情報弱者が救われる

音声認識がほぼ完全に出来るようになると、子供や高齢者というこれまでネットの恩恵を被れなかった人達が自由に使えるようになります。「〇×さんにメール」と発語することはこれまでの高い壁を取り除くことが出来ます (身体障害者には配慮が必要)

##### 3) マーケティング、広告、リサーチを自由に行うことが出来ます

実はこれは直接には利用者の益につながらないように見えますが、これまでとやり方を変えます。

まずは「共通 ID」を発行します。この ID はユニークで唯一つのものです。上記のように同じような情報を何回も繰り返しいれる必要がありません。また、こうした事業を通じてあがった利益のう



←26000 円/月くらいを考えようかなあ (笑)

ち約 1/2 を利用者にペイバック します。現在のペイバック率は 10%以下ですから、利用者の受益は非常に大きなものになります。

#### 4) 教育

今の子供達は文部科学省が事細かに決めた規則にしたがってしか教育を受けることが出来ません。



←出来ない子供にとっては地獄です。

欧米では当たり前の「飛び級」すら、かないません。出来る子供にとって学校の授業ほど苦しいものはありません。世界中の教材を使って自分のレベルに合わせて好きな勉強を自分のペースで行うことが出来ます。

#### 5) あらゆるトランザクションが1ストップで

買い物、銀行、証券、遠隔医療、ハイパー・ポータルサイトです。

相変わらずぶひぶひ言っています (笑) 著者近影→



以上が大きな特徴です。また、「りゅうぼん」は何をとち狂って、とお感じになられる方がほとんどだと思います。私自身がそうでしたから (笑)。実は、現段階ではまだ「夢物語」の域をちょっとでたところです。最終的な形になるには現在研究されている「次世代コンピュータ」の開発が前提となるからです。

先日、トークライブでお見かけしました。非常にまっすぐな好青年だと感じました

日本社会は非常に貴重な才能をつぶしてしまったかもしれない(T\_T) →



偶然ですが、別冊宝島の「グーグル 脅威の未来地図」の中で元ライブドアの堀江さんは、「脳にチップを埋めてその信号でロボットを動かす方法とかが実用化されたら、彼ら(グーグル)のような連中が思っても見なかったビジネスを見つけ出すのではないのでしょうか」と語っています。

そこまでぶっ飛んだ構想ではないのですが、現在のコンピュータの性能ではやはり現在のネットと同じようなものが出来上がってしまいます。これは現在のノイマン型コンピュータの限界です。しかしそこで止まってしまっても何も起きませんので、現在のコンピュータ、ネットの環境でどこまで

出来るか、という実験プロジェクトを開始することにしました。ただ、当然お金のかかる話ですから、コンソーシアム形式で計画を立ち上げ、その中から出資者を募り、実際の実験プロジェクトに結びつけるつもりです。

1 月の下旬に第一回のコンソーシアムを行います。ご興味のある方は柳本までご連絡をお願いします。

アマゾンで買えます。MAKO さんの CD →



会社単位でも結構ですし個人でも OK です。MAKO さんを一度見るだけでも面白い



と思いますよ。あ、ちょっとだけ興味があるという方は、企画書をお送りします。

(現段階では思いつき怪しい話です。でも、新規事業にはある種の怪しさが必要です)

## 「インターネットが本来、持つべき機能を誰にでも提供しよう」と

言う構想です。これが大きな地球インフラに発展していくことを夢見ています。人々が出自や階級や貧困から開放され等しく機会を得られる。そんな構想です。

グーグルとどこが違うって？

google のすごさは現在発売中の宝島別冊でもよくわかります →



グーグルは世界中のあらゆる情報を集め、加工し、検索の精度を高めます。

## 「次世代ネット」はその上位概念に位置し、グーグルもそのモジュールの一つに

なると考えています(まあ、言うだけただですから) (笑)。

次世代プラットフォームと言ってもいいのです。どこまで出来るか、50 代のおっさんが頑張ってみます。

できれば応援をお願いします。m( \_ )m。

不思議な偶然から始まった構想ですが、既に賛同者が現れています。普段は比較的地味な仕事をしておりますが、これも続けます (笑)。夢だけでは食べていけませんので。次号は 2 月、真冬です。

株式会社アール・リサーチ 〒271-0051 千葉県松戸市馬橋 1896-1 ヴィレッジ K・I 馬橋 3 F

Tel 047-342-3181 mobile 090-7428-8999 mail : [ryubon@kkd.biglobe.ne.jp](mailto:ryubon@kkd.biglobe.ne.jp)

<http://r-research.co.jp/> ブログ、毎日更新しています → <http://rresearch.blog103.fc2.com/>